

カリキュラム区分		4カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門科目	424	2年	前期	臨床検査学科	必修	微生物学 Microbiology	30	1
担当教員								
美間 健彦	宮本 仁志*							
関連するDPキーワード（看護学科）								
	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	○ ② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	○ ③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	○ ④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
微生物の分類（一般細菌・抗酸菌・マイコプラズマ・リケッチア・クラミジア・真菌・ウイルス）およびそれらの形態や性質の違いについて説明できるようになる。細菌の代謝と発育および観察法と染色法を説明できるようになる。滅菌と消毒の方法、化学療法薬の種類と特徴、薬剤感受性試験および薬剤耐性機構について説明できるようになる。真菌の分類、病原性と同定検査、抗真菌薬について説明できるようになる。								
到達目標（授業目標）								
	① 微生物の分類（一般細菌・抗酸菌・マイコプラズマ・リケッチア・クラミジア・真菌・ウイルス）について説明できる。							
	② 微生物の形態と構造について説明できる。							
	③ 細菌の代謝と発育について説明できる。							
	④ 細菌の観察法と染色法について説明できる。							
	⑤ 細菌の感染と発病について説明できる。							
	⑥ 滅菌と消毒について説明できる。							
	⑦ 抗菌薬の種類および作用機構について説明できる。							
	⑧ 細菌の薬剤感受性試験の種類と方法について説明できる。							
	⑨ 細菌の抗菌薬耐性について説明できる。							
	⑩ 真菌の性質および抗真菌薬について説明できる。							
回	授業計画（項目・内容と方法・担当者）							
1回	微生物の種類：微生物の概念、微生物の種類（一般細菌・抗酸菌・マイコプラズマ・リケッチア・クラミジア・真菌・ウイルス）、微生物の違いについて講義する。：美間 健彦							

2回	微生物の形態と構造：微生物の形態と構造について講義する。：美間 健彦
3回	細菌の代謝と発育：細菌の代謝と発育、発育条件、栄養要求性、培養方法について講義する。：美間 健彦
4回	細菌の観察法と染色法：細菌の観察法と染色法について講義する。：美間 健彦
5回	細菌感染と発病（1）：感染の概念、宿主の抵抗力（生体防御）、感染と発症について講義する。：美間 健彦
6回	細菌感染と発病（2）：日和見感染、感染経路、感染の広がり、細菌の病原因子について講義する。：美間 健彦
7回	常在細菌叢：常在細菌叢の概念、常在細菌叢の分布、常在細菌叢と感染について講義する。：美間 健彦
8回	滅菌と消毒：滅菌と消毒の概念、滅菌と消毒の方法、消毒薬の種類と使用方法について講義する。：宮本 仁志
9回	化学療法剤（1）：化学療法の概念、化学療法剤の種類、化学療法剤の作用機構について講義する。：美間 健彦
10回	化学療法剤（2）：β-ラクタム系抗菌薬、アミノグリコシド系抗菌薬、マクロライド系抗菌薬、キノロン系抗菌薬、ポリペプチド系抗菌薬、TDMについて講義する。：美間 健彦
11回	細菌の薬剤感受性試験：薬剤感受性試験の種類と方法について講義する。：宮本 仁志
12回	細菌の薬剤耐性菌：薬剤耐性の機構、薬剤耐性菌の種類、薬剤耐性遺伝子の伝達機構について講義する。：美間 健彦
13回	真菌感染症：真菌の感染経路および疾患、同定検査について講義する。：美間 健彦
14回	真菌の分類：真菌の分類（酵母様真菌、糸状菌、二形性真菌）について講義する。：美間 健彦
15回	真菌感染症の治療：抗真菌薬と薬剤耐性真菌について講義する。：美間 健彦
16回	
17回	
18回	
19回	
20回	
21回	
22回	
23回	
24回	
25回	
26回	
27回	
28回	
29回	
30回	

成績評価方法及び基準

定期試験（筆記試験）（100％）で評価する。60点以上を合格とする。

教科書	松本哲哉 編「最新 臨床検査学講座 臨床微生物学」（医歯薬出版）
参考図書等	吉田眞一・柳 雄介・吉開泰信 編「戸田細菌学」（南山堂）

授業時間外の学習について（授業準備のための指示）

前回の項目について、配布プリントおよび教科書等を参考に復習してください。次回の項目について、教科書等を参考に予習してください。

関連科目

前科目										
後科目	425	臨床微生物学Ⅰ	426	臨床微生物学Ⅱ	427	微生物学実習	428	臨床微生物学実習	444	院内感染管理学

実務家教員

臨床検査技師（医療機関）	宮本 仁志 *							

備考	
----	--